

九州で活躍する女性たち 2017

2015年8月、女性活躍推進法が成立した。少子高齢化によって労働人口が減る中で、官民一体となり女性が活躍する社会に歩み始めている。企業は独自に管理職の比率目標や仕事と家庭の両立を目指すワークライフバランスの体制整備を進める。一方、業界によっては男性優位の構造が残るなど解決すべき課題もある。そこで、産官で活躍している九州の女性4人に集まってもらい、女性が活躍するための会社や社会のあり方について語り合った。

家庭と仕事両立 「九州経済を元気に」



石坂氏

池部 私も会社や企業さんの集まりに出席すると女性が少ないなど多々感じます。紅一点で目立つことで話しかけられたり、名前を覚えてくれたり得なこともあります。現代は変化がめまぐるしい時代です。女性に限らず多種多様な人材が活躍できるハイパーシティ経営を

女性目線を商品開発に

石坂氏

鉄工業界にも女性登用

牛島氏

小湊 入行した当時は男女雇用機会均等法が制定されて間もない時代でした。女性の総合職としての採用や登用がまだ積極的ではない時代です。行内の半分が女性が占めているにもかかわらず、補助的な仕事を中心で、銀行は男性社会だと強く感じていました。

金加工や製缶、プラント建設などの仕事を手がけています。主人を早く亡くし、右も左も分からない鉄工業界で奮闘してきました。この世界は封建的男性社会で何につけても上から目線、女性と対等な関係を持とうとしない。事業自体は長崎県産業振興財団が応援してくれたおかげもあり、ここ3、4年でやっと軌道に乗りました。

女性事務職と製造現場で1人ずつ活躍しています。工場の窓を増やして明るい工場に変え、塗装も一新、女性トイレも新設しました。女性に技術的なことに気が付くと、技術も全く問題ありません。鉄工業界でもどんどん採用すべきです。

池部 私はバブルの時期に通商産業省現経済産業省の一員になりました。公務員が仕事を辞めると、女性が仕事を辞めると、公務員がいよほどの母の勤めもありました。入道後は消費者行政、商店街振興、地域振興、国際関係など幅広い業務に携わりました。現在は九州全県を担当する九州経済産業局で企業支援課

推進すること、企業も競争力を高められると思います。経済産業省では、先進的な取り組みの表彰や情報提供も行っています。小湊 女性が活躍する上で、家庭と仕事の両立も課題の一つだと思います。どなたか、家庭と仕事を両立している方はいませんか。石坂 私は家庭での時間が長かったので、仕事の進め方が変わりました。池部 特に子供が小さい頃は、勤務中とにかく集中して、優先順位つけや段取りを工夫するよう心がけました。夫は昔のCMにある

石坂 私の時代は大学卒業後に女性が社会進出することが、一般的ではありませんでした。私自身大学卒業後は結婚して家庭に入りました。社会人とは働くことだけでなく、きちんと大人として生きていくことだと理解しています。主婦と外で働く女性との間に能力の差があるとも思いません。97年に家業である、ひよ子の代表取締役になりました。菓子業界は優しい男性が多いです。女性をターゲットにした商品も多く販売しており、主婦としての経験が仕事で役立つと思います。

池部 私はバブルの時期に通商産業省現経済産業省の一員になりました。公務員が仕事を辞めると、女性が仕事を辞めると、公務員がいよほどの母の勤めもありました。入道後は消費者行政、商店街振興、地域振興、国際関係など幅広い業務に携わりました。現在は九州全県を担当する九州経済産業局で企業支援課



牛島氏

池部 黄色のあのイメージが強いので、ピンク色のあんが顔をのぞかせたときは驚きました。

仕事の進め方を工夫 池部氏 努力で信頼勝ち取る 小湊氏

出席者

- ひよ子社長 石坂淳子氏
- タカギ建設鋼業社長 牛島満子氏
- 九州経済産業局地域経済部 池部素子氏
- 企業支援課長
- 〈司会〉 小湊真美氏
- 西日本シティ銀行広報文化部長

NCB 創業応援サロン

創業カウンセラーが親身になってご相談をお受けします。

これから創業を目指す方や創業して間もない方へ

- 創業時や創業後の課題に関するご相談対応
- 創業に関するセミナー・相談会の実施
- 創業資金の調達支援
- 創業者交流会の実施

NCB創業応援サロン

TEL 0120-713-817
 携帯電話からお電話いただいた場合はビジネスサポートセンター福岡へのご案内になります。

住所 福岡市中央区天神2-5-28 大名支店ビル7F
 営業時間 平日9:00~17:00
 ※12月31日~1月3日、5月3日~5月5日は休業とさせていただきます。